

お知らせ

2022年5月27日
東北電力ネットワーク株式会社

今夏の需給見通しについて

今夏の電力需給の見通しについては、電力広域的運営推進機関による需給検証を経て、本日、経済産業省の電力・ガス基本政策小委員会において取りまとめられました。

この取りまとめの中で、当社エリア（東北6県と新潟県）の今夏の需給見通しについては、至近10年で最も猛暑となった年と同程度の気象条件となった場合であっても、下表のとおり、電力の安定供給に最低限必要とされる予備率3%を確保できる見通しとなっております。

しかしながら、7月の予備率は3.1%と非常に厳しい見通しであるほか、発電所の予期せぬトラブルによる供給力の減少や、猛暑による電力需要の急激な増加など、不測の事態が発生するリスクがあることを踏まえれば、予断を許さない状況であるものと認識しております。

当社といたしましては、引き続き緊張感を持って設備の運用・保守にあたりるとともに、電力広域的運営推進機関など関係各所と適切に連携を図りながら、安定供給に万全を期してまいります。

【2022年度夏季需給見通し】

	7月	8月	9月
供給力 (万kW)	1,397	1,483	1,404
最大需要電力 ^{※1} (万kW)	1,356 ^{※2}	1,420 ^{※3}	1,330 ^{※4}
供給予備力 (万kW)	42	63	74
供給予備率 (%)	3.1	4.4	5.6

(注) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

- ※1 至近10年で最も猛暑となった年と同程度の気象条件となった場合の最大需要電力想定（7月：1,356万kW、8月：1,450万kW、9月：1,354万kW）に対して、最大需要電力が発生する時期はエリアごとに異なること（＝不等時性）を考慮し評価した需要
- ※2 7月は2021年度並みの猛暑を想定
- ※3 8月は2018年度並みの猛暑を想定
- ※4 9月は2020年度並みの猛暑を想定

以上